

2018年（平成30年）10月25日  
第32次地方制度調査会第5回専門小委員会



# 圏域経済の活性化に向けて

---

福山市長 枝廣 直幹

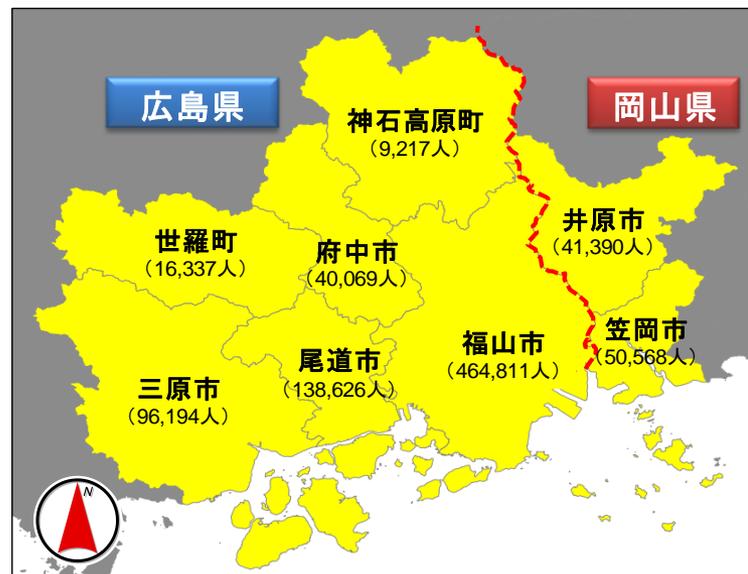
# 1 備後圏域の現状と特徴

---

# 備後圏域の概要



圏域全体（6市2町）  
 人口 **約86万人**  
 面積 **2,509 km<sup>2</sup>**



(出典) 平成27年国勢調査

※備後圏域のうち4市町が他圏域と重複  
 三原市、世羅町  
 広島都市圏域へ… (連携中枢都市：広島市)  
 笠岡市、井原市  
 高梁川流域圏へ… (連携中枢都市：倉敷市)

## 福山市への通勤・通学割合

(単位：人、%)

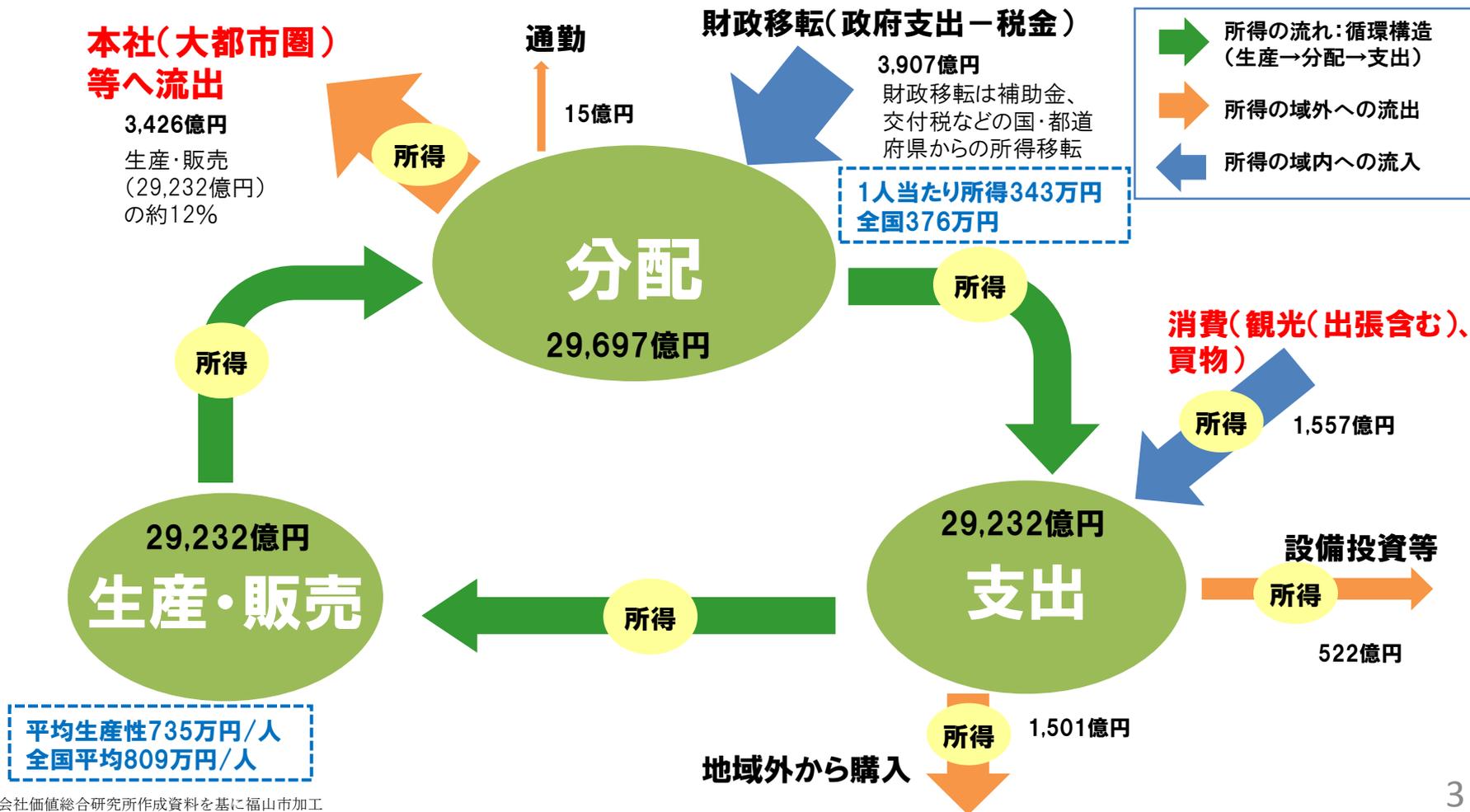
	① 常住する 就業者・ 通学者	② ①のうち自宅で 従業等	③ 福山市への 通勤・通学者	④ 通勤・通学 割合
三原市	48,340	4,555	1,660	3.8
尾道市	69,771	8,069	7,667	12.4
府中市	20,555	2,520	4,814	26.7
世羅町	9,101	1,990	189	2.7
神石高原町	5,035	1,540	472	13.5
笠岡市	24,466	2,304	4,432	20.0
井原市	21,283	2,658	3,286	17.6

(注) ④通勤・通学割合 = ③ ÷ (① - ②) × 100

(出典) 平成27年国勢調査

# 備後圏域の地域経済循環の現状

- 圏域内企業の稼ぐ力を高め、家計や企業での所得増加につなげていく必要がある。
- 地域で稼いだ所得（付加価値額）のうち、約12%が本社機能がある圏域外に流出している。
- 稼ぐ力をつけるため、地域の基幹産業を中心に、圏域内で所得を循環させる構造を構築することが重要。
- 民間消費の流入は強みであるが、活かさきれていない。



# 備後圏域における産業間の地域内取引の構造

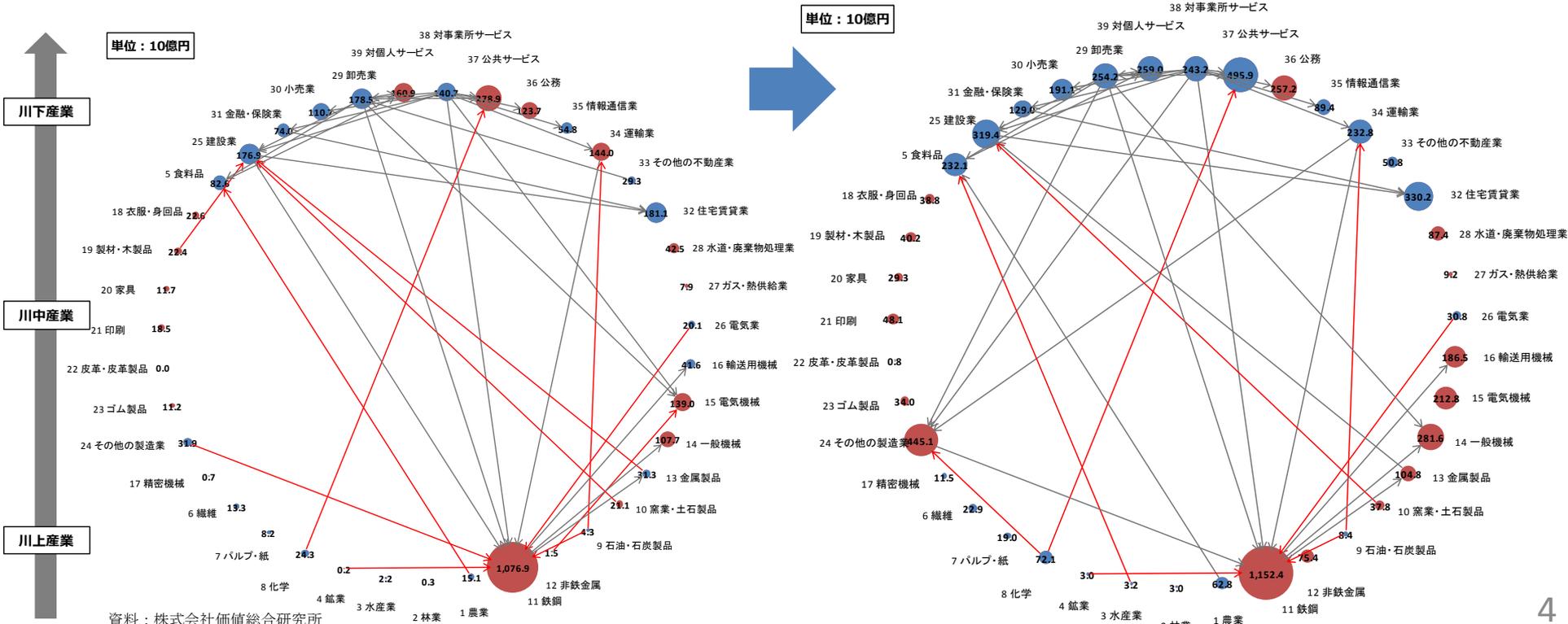


- 福山市単独で見ると、鉄鋼の円の大きさが際立っており、取引も集中している。
- 圏域で見ると、各産業の円が大きくなっている（市場が拡大）。産業間の取引も増え、圏域内で補完しあっている。※関連する業種とのクラスター化により産業を活発化できる可能性。
- 赤い円の川上の製造業が強みであり、青い円の川下のサービス業などの稼ぐ力を高めることが重要である。

- 純移輸出額がプラスの産業  
(数値及び円の大きさは当該産業の地域内生産額) → 当該産業(矢印始点)が他の産業(矢印終点)に販売した財・サービスの総額が地域内生産額の0.2%以上を占める、かつ当該産業の地域内生産額の30%以上を占める取引
- 純移輸出額がマイナスの産業  
(数値及び円の大きさは当該産業の地域内生産額) → 当該産業(矢印始点)が他の産業(矢印終点)に販売した財・サービスの総額が地域内生産額の0.2%以上を占める取引

■ 産業間取引構造 (福山市)

■ 産業間取引構造 (備後圏域)

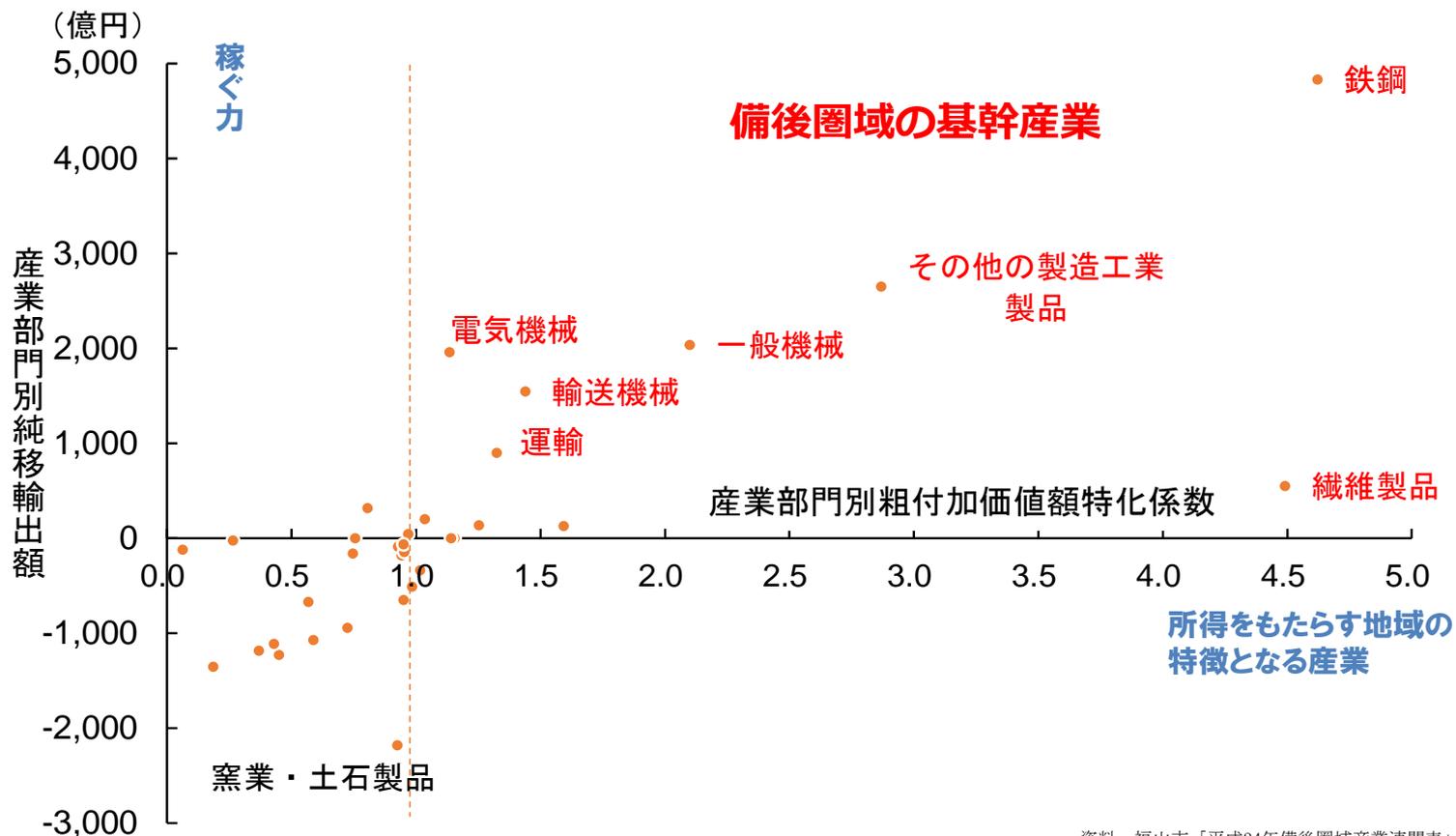


# 備後圏域の基幹産業 – 産業連関表による分析 –



- 備後圏域は、世界シェア・国内シェアトップ企業や、他に代替製品がないオンリーワン企業、グローバル企業が立地している。
- 域外から稼ぎ、地域に所得をもたらす基幹産業は、鉄鋼、繊維製品、その他の製造工業製品（プラスチック等）、一般機械、輸送機械、電気機械、運輸の7産業である。

■全国を1とした場合の産業部門別粗付加価値額の係数と純移輸出額（基幹産業の抽出）



資料：福山市「平成24年備後圏域産業連関表」

# 圏域経済への影響度が高い域内産業の抽出 - 産業連関表による分析 -



- 繊維製品（基幹産業の1つ）と飲食料品が生産影響度が高い。これら産業の最終需要が増加すると、圏域全体への新たな生産増加が多く発生する。
- 市町相互の相乗効果を生み出す施策を実施することが、圏域経済の活性化のために重要。

■ 生産影響度と生産感応度



## 生産影響度

当該産業で、最終需要が1単位増加したときに経済全体でどれだけ生産が増加するかを示す。(当該産業が持つ圏域経済への生産影響度(生産波及力)を表す。)

## 生産感応度

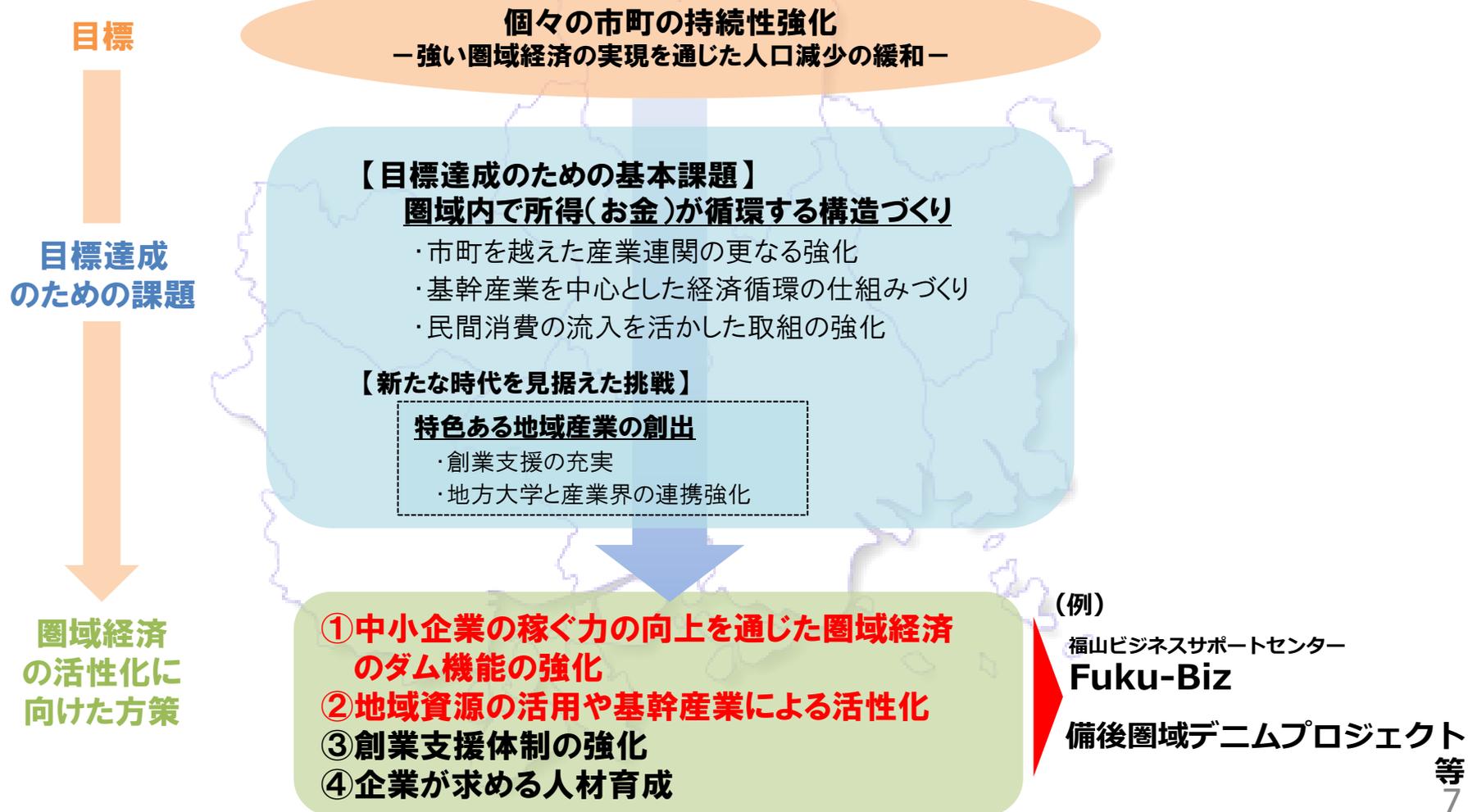
当該産業の生産額が、各産業で最終需要が1単位増加したときにどれだけ増加するかを示す。(圏域のあらゆる産業の生産活動から当該産業が影響を受ける生産感応度を表す。)

基幹産業の中で、圏域経済の活性化に向け、**効果的**であり、関係者の**機運が高い**ものから戦略的に実施。

# 経済分析を踏まえた課題と今後の方策



- 「個々の市町の持続性強化」を図るため、**圏域で所得が循環する構造づくり**などの課題を解決し、**市町間で経済的なつながりの強い圏域形成**を目指す必要がある。
- 消費活動が重なる圏域が、人口減少下においても持続可能で成長力のある「地域単位」になっていくと期待されるため、**圏域経済の好循環に向けた取組**などが重要となる。



## 2 圏域ビジョンの推進

---

# 2018年度（平成30年度）びんご圏域ビジョンの施策体系



## 【分野】

## 【基本施策】

## 【主な事業(2018年度)】

### 産業

圏域全体の  
経済成長のけん引

- 【KPI】
- ・製造業事業所数
  - ・製造業従業者数
  - ・製造業の粗付加価値額
  - ・総観光客数 等

(1) 圏域全体の産業振興の  
仕組みづくり

- ・福山ビジネスサポートセンター Fuku-Biz
- ・ものづくり人材育成支援事業 等

(2) 中小企業事業者等への支援

- ・デニムプロジェクト
- ・**新**中小企業事業者のインターンシップ強化 等

(3) 第一次産業の活性化

- ・販路開拓推進・6次産業化推進事業
- ・備後圏域ワインプロジェクト 等

(4) 戦略的な観光振興

- ・**新**備後圏域サイクリングエリアの構築 等

### 都市機能

高次の  
都市機能の集積・強化

- 【KPI】
- ・看護師等の圏域内就職率
  - ・大卒者の圏域内就職率 等

(1) 高度医療の充実や強化

- ・医療提供体制の充実
- ・こども発達支援センターの共同運営
- ・看護職員確保対策事業 等

(2) 広域的な都市基盤の整備

- ・地域公共交通再編実施計画の策定
- ・立地適正化計画等策定の連携 等

(3) 高等教育機能の充実や強化

- ・グローバル人材育成事業
- ・大学連携の推進 等

### 住民サービス

圏域全体の  
生活関連機能  
サービスの向上

- 【KPI】
- ・合計特殊出生率
  - ・人口社会動態 等

(1) 医療や福祉サービスの充実

- ・地域包括ケアシステムの構築(**新**高齢者徘徊SOSネットワーク) 等

(2) 広域化による  
住民サービスの向上

- ・備後圏域消費者行政推進事業
- ・地域防災を担う人材の育成 等

(3) 地域活性化の推進

- ・備後圏域PR事業
- ・道の駅等のネットワーク化 等

(4) 定住促進

- ・備後圏域定住促進事業
- ・地域おこし協力隊の広域連携 等

(5) 圏域マネジメント能力の強化

- ・人材ネットワークの広域活用(生涯学習講師派遣)
- ・自治体職員の人材育成(合同研修の実施) 9



## 目標

- ・備後圏域の中小企業の「稼ぐ力」を高める。
- ・チャレンジしやすい地域として創業者が増える。

## 概要

- ・売上向上、創業支援に重点を置いた、備後圏域の産業支援機関
- ・質の高いマーケティング、デザイン、販路開拓、ブランディングなどを一貫して提案

2016年12月に開設

**step1** ・事業者自身も気づかなかった強みを一緒に見つける

**step2** ・強みを生かした事業提案



## 相談体制

- ・センター長
- ・プロジェクトマネージャー
- ・ITアドバイザー
- ・クリエイティブアドバイザー
- ・ディレクター(3名)



**1年契約による成果主義の徹底** **Point**

## 機能強化

### 圏域市町への普及

- 出張相談
  - ・連携市町の利用拡充に向け無料出張相談を実施

### 民間との連携強化

- 若手起業家を地元企業と支援
  - ・若手起業家向けのオフィスビルを運営する不動産会社と連携
  - ・入居者へはFuku-Bizが個別の経営相談

### 創業支援体制強化

- 創業支援スペシャルチーム
  - ・先輩起業家をアドバイザーとしたチームを編成(創業ワンストップ支援)



- 金融機関と連携した融資制度
  - ・駅前のにぎわい創出に資する事業者への融資制度を創設

### 体験の場の提供

- チャレンジャーズマルシェ
  - ・起業や集客拡大を目指すFuku-Bizの利用者を対象に商品のテスト販売の場を提供

- 女性の起業・創業支援
  - ・起業を身近に感じるイベントを金融機関と連携して開催し、女性起業家を育成

# Fuku-Bizの成果



- 質の高い専門家集団を形成し、マーケティング、デザインなどの産業支援機能を圏域で確保。圏域内の企業間の相互的なビジネス機会を創出。
- 開設から1年半で相談実績が3,000件を突破。
- 相談した事業者の63.8%が売上向上につながる。 (事業者の稼ぐ力の向上に寄与)

## 相談件数

延べ**3,988件**  
(2018年9月末)

開設から1年半で  
相談実績が3,000件突破  
**f-Bizモデルで全国最速**

## 売上向上率

**63.8%**  
(2017年度)



## 事業者の稼ぐ力の向上事例



### 地元事業者の売上倍増

もやしメーカーの商品にプレミアム感を付加するためのアイデア支援。新たな商品の生産のための機器などを導入した新工場の整備も併せて進め、売上を倍増。

年間売上高  
約6千万円→1億2千万円

## 民間発の新しい地方創生モデル



### 福山発の 若手起業家支援プロジェクト

- ・空き物件をオフィスビルにリノベーションした若手起業家支援ビル「DioPorte(ディオポルテ)」を民間不動産会社が運営。
- ・Fuku-Bizと連携し、起業家へのサポート体制を充実させることで、「空き物件対策」「起業家の創出」「創業支援」を多面的・持続的に解決するためのモデルを構築。  
2年で約10人の起業家を支援

## 民間主体による連携事業促進



### 金融機関×Fuku-Biz連携融資制度

- ・Fuku-Bizの推薦を得られた事業者を対象に、まちのにぎわいの創出に資する事業支援のための融資制度「にぎわい」を創設。
- ・今年度中に、「にぎわい」を活用した店舗がオープン予定。



### びんご女性起業応援カフェ

- ・備後圏域の起業を希望する女性を対象に、起業の先輩やFuku-Bizスタッフとのパネルディスカッション、グループワーキングなどを実施。
- ・起業が身近になるイベントを通じ、備後圏域の女性の起業への一歩目を支援。

# 圏域経済の好循環に向けた取組① - 備後圏域デニムプロジェクト -



[特徴] ○備後圏域は、高品質のデニムを生み出す企業が集積しており、世界の有名ブランドからも注目。

○紡績、染色、織布、縫製、加工といったデニム生産にかかわる業種が全て揃っている日本唯一の地域。

[課題] ○最終製品がなく製品を活用した産地PRがしにくい。

## ■デニム製造・販売関連企業

No.	会社名	地域	業務内容						
			①紡績	②染色	③織布	④整理加工	⑤縫製	⑥洗い	⑦縫製(縫製)
1	株式会社	広島県福山市							
2	猪原勝織物(有)	〃							
3	馬屋原産業(有)	〃							
4	エスパシオ・S E	〃							
5	小田デニム洗業株式会社	〃							
6	株式会社	〃							
7	カイハラ株式会社	〃							
8	株式会社	〃							
9	坂本デニム株式会社	〃							
10	(有)サブレ	〃							
11	山陽染工株式会社	〃							
12	株式会社	〃							
13	藤原テキスタイル株式会社	〃							
14	瀬尾株式会社	〃							
15	タカヤ商事株式会社 本社	〃							
16	中国紡織株式会社	〃							
17	豊友商事株式会社	〃							
18	広島織染協同組合	〃							
19	備後燃糸株式会社	〃							
20	(有)MILL CREATE	〃							
21	ONOMICHI DENIM SHOP	広島県尾道市							
22	旭染業(有)	広島県府中市							
23	旭線織株式会社	〃							
24	株式会社	〃							
25	カナセ織物株式会社	〃							
26	株式会社	〃							
27	J-KURA	〃							
28	株式会社	〃							
29	笠岡縫製(有)	岡山県笠岡市							
30	(有)ヒカミコーポレーション	〃							
31	森田織物株式会社	〃							
32	株式会社	〃							
33	青木被服株式会社	岡山県井原市							
34	猪原織物(有)	〃							
35	株式会社	〃							
36	カミヨ千々木株式会社	〃							
37	クロキ株式会社	〃							
38	新星被服株式会社	〃							
39	シンヤ株式会社	〃							
40	スタジオM	〃							
41	高木織物(有)	〃							
42	タカヤ商事株式会社 高屋工場	〃							
43	株式会社	〃							
44	鳥岡染工株式会社	〃							
45	株式会社	〃							
46	株式会社	〃							
47	日本綿布株式会社	〃							
48	備中染工株式会社	〃							
49	株式会社	〃							
50	株式会社	〃							
51	丸茶タワシ株式会社	〃							
52	丸井株式会社	〃							
53	(有)ミズタニ	〃							
54	(有)モリモト	〃							
55	山定織物(有)	〃							
56	ヤマメン株式会社	〃							
57	芳井ジーンズ株式会社	〃							
58	吉河織物株式会社	〃							
59	吉和織物株式会社	〃							
60	(有)渡辺被服	〃							



# 圏域経済の好循環に向けた取組② - 備後圏域デニムプロジェクト -



- 域内企業を中心とした最終製品の開発によるデニムのブランド化。
- 繊維産業は、最も圏域経済への生産影響力が強く、圏域への高い波及効果を期待。

## 目標

- ・備後圏域がデニムの産地として注目される。
- ・関連企業や素材・技術等が世界から求められる。

## 概要

- ・備後圏域共通の地域資源であるデニムを関連事業者とともに情報発信
- ・企業ニーズを反映した販路開拓支援等の事業を展開



日本屈指の  
デニムの産地

圏域が誇る  
地域資源

### ①デニム関連事業者の集積



### ②デニム生産にかかわる業種 が揃う唯一の地域



①紡績 ②染色 ③織布



④整理加工 ⑤縫製 ⑥洗い

ジーンズ工程

域内メーカーと  
バッグブランドとの  
マッチング

### ・ブランドとデニムメーカー とのマッチング

地元デニム生地を活用した  
商品化(国内の人気バッグ  
ブランド4者とマッチング)

### → ECサイトのランキングで 上位を独占



海外市場  
への展開

### ・海外展示会出展 への挑戦

デニムを世界的な素材展示会  
「ミラノ・ウニカ」へ出展



会場風景(The Japan Observatory  
at MU 2018AWより)

圏域内における  
最終製品の製作  
(ブランドの立ち上げ)

### ・地場企業とデザイナーの マッチングによる商品開発

国内有名ブランド、デザイナー  
とのマッチングにより最終製品  
を圏域内で製作



### ・ローンチイベントの開催

都内屈指の集客力を誇る商  
業施設において、製品発表

### 3 圏域経済活性化に向けた成果と今後の方向性

---

## 成果 — 連携事業を実施して得たもの

- **単独自治体では実施が難しい事業の実現**
  - ・ 共通課題（中小企業の稼ぐ力を高めるなど）の解決に関する事業（Fuku-Biz、びんご産業支援コーディネーター）
  - ・ 圏域経済の発展を支える人材育成（グローバル人材育成、ものづくり大学、独自の留学制度の創設）
  - ・ 販路拡大（まるごとにつぼん出展）
- **産学金官民のつながりの強化**
  - ・ 各団体との連携による効果的な事業展開（ものづくり大学、6大学連携講座）
  - ・ 地域共通の資源の磨き上げ（ワインPJ、デニムPJ）
  - ・ 産学金主体の連携事業の促進（融資制度「にぎわい」創設、備後福山ワイン振興協議会）

## 今後の方向性 — 今後取り組んでいかなければならないこと

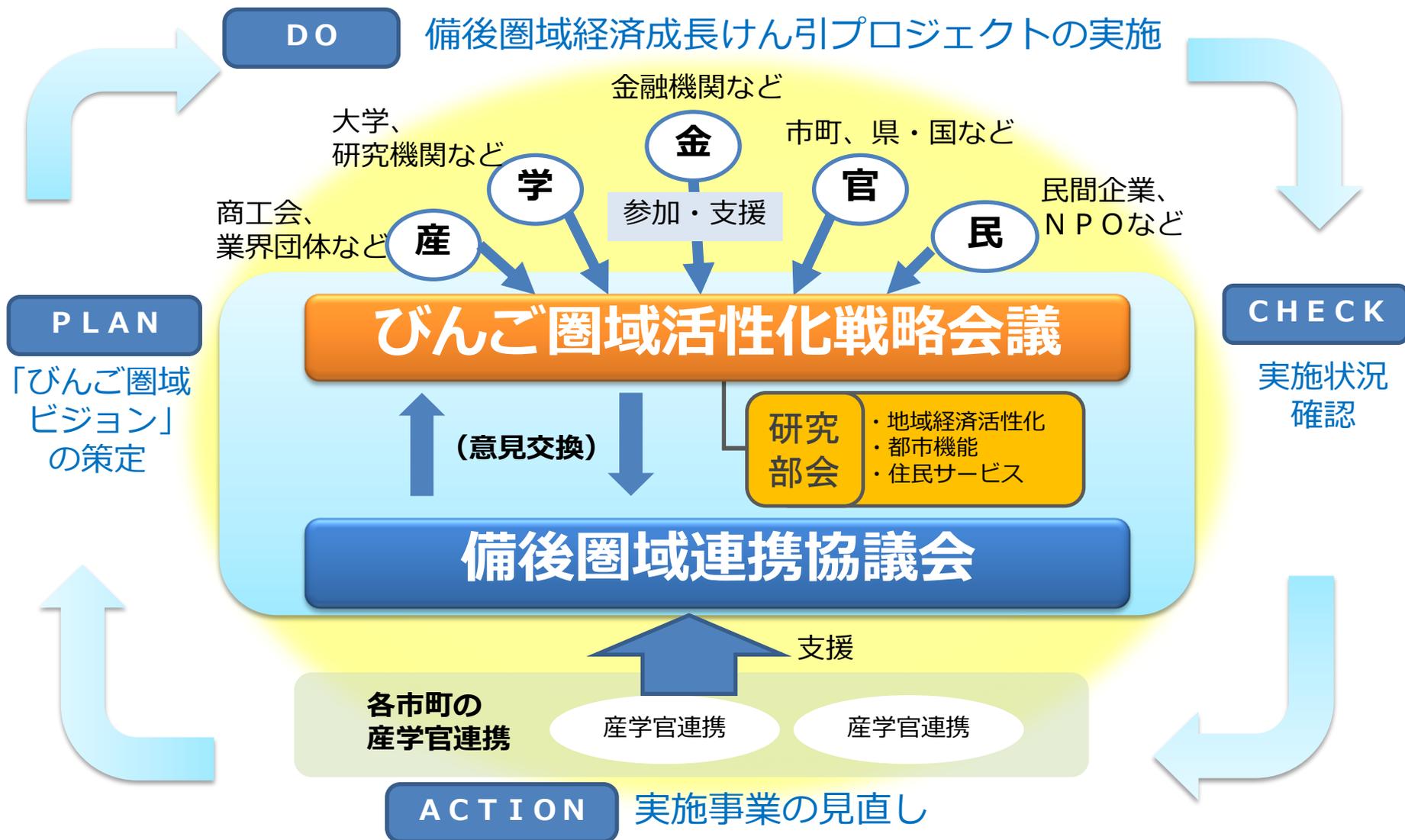
- **地域所得の流出の抑制**
  - ・ 地域所得を逃がさないための、本社機能の確保（県、国との連携）
- **圏域における経済循環の促進**
  - ・ 市町相互の相乗効果を生み出す産業施策の実施（デニムPJの発展型）
- **裾野の広い産業の活性化**
  - ・ 戦略的な観光振興など
- **圏域経済活性化のための民間企業との連携**
  - ・ 金融機関等との協定の活用

## 4 參考資料

---

# 取組の推進体制①

## びんご圏域ビジョンの推進体制





### びんご圏域活性化戦略会議(事務局 福山市企画政策課)

#### 地域経済活性化

部会長: 佐々木 崇  
(広島銀行)

#### 都市機能

部会長: 渡邊一成  
(福山市立大学)

#### 住民サービス

部会長: 藤井孝紀  
(福山市社会福祉協議会)

**－ 28のワーキング－**  
幅広い分野に亘り  
効果的・効率的な  
事業実施を検討!

〈テーマ〉	〈WG/関連会議〉	〈テーマ〉	〈WG/関連会議〉	〈テーマ〉	〈WG/関連会議〉	〈テーマ〉	〈WG/関連会議〉
ものづくり	人材育成	高度人材育成ワーキング	公立病院	びんご圏域公立病院等連絡会議	行政システム	情報システム部会	
ものづくりワーキング	公共施設	公共施設関係課長会議	福祉・介護人材	備後圏域福祉・介護人材確保等連絡会議	情報発信	備後圏域広報課長会議	
観光	立地適正化	立地適正化計画等連絡調整会議	高齢者	ご長寿ワーキング	消費者行政	消費者行政担当者会議	
広域観光ワーキング	大学連携	6大学等連携エクステンション会議	障がい者福祉	就労系事業者に係る市町担当者情報交換会	行財政	備後圏域財政担当課長会議	
6次産業	国際人材	グローバル人材育成事業実施協議会	発達支援	こども発達支援センター関係市町連絡会議	法務	自治体法務研究部会	
備後圏域6次産業化ネットワーク会議	広域医療	広島・岡山 県境を越えた医療広域連携会議	健康	健康ワーキング	指導監査	社会福祉法人指導監査に係る情報交換会	
産業振興	医療スタッフ	医療連携準備会議	防災連携	自治体防災連絡会議	道の駅	道の駅連絡会議	
産業振興担当者会議	上下水道	水道事業における広域化・官民連携の勉強会			定住促進	移住・定住ワーキング	
サイクリング							
(仮称)備後圏域サイクリングエリア検討担当者会議							

# 圏域ビジョン「圏域全体の経済成長のけん引」の取組一覧

連携協約・圏域ビジョン			連携事業
区分			
圏域全体の経済成長のけん引			
(1) 圏域全体の産業振興の仕組みづくり	ア 成長戦略のフォローアップ	「びんご圏域活性化戦略会議」の運営、圏域ビジョンの進行管理、追加調査の実施、事業の評価と見直し等を行う。	びんご圏域ビジョンのフォローアップ (戦略会議運営費等)
	イ 備後圏域産業連関表の作成・活用	備後圏域全体の産業振興の基礎となる備後圏域産業連関表を作成する。	備後圏域産業連関表の活用 (経済波及効果算出システム活用推進事業)
	ウ 産業支援拠点機能の充実	産学金官が連携し、企業の経営革新、技術革新、人材育成等、圏域の産業振興に必要な支援機能の充実に取り組む。	産業支援拠点運営〔福山ビジネスサポートセンター-Fuku-Biz〕 ものづくり人材育成支援事業(ものづくり大学等) 備後圏域創業促進事業 起業化促進支援拠点運営事業【三原市】
(2) 中小企業事業者等への支援	ア 中小企業事業者のイノベーション等の推進	異分野異業種の合同研修や中小企業の経営改善、大学又は様々な業種とのマッチング等を進めるコーディネーターの育成や活動支援などに取り組む。	びんご産業支援コーディネーター派遣事業
	イ 女性の創業支援	複合商業施設を活用して、産学金官で連携することにより、女性が働きやすく、活躍できる環境整備に取り組む。	備後圏域女性活躍促進事業
	ウ 地域の産業集積による競争力向上	圏域の企業が、ものづくり技術を活かし、ご長寿産業等の新たな分野への参入や新たな製品開発に取り組めるよう支援する。また、圏域に集積する先端ものづくり技術や地域資源等の効果的な発信に取り組むなど、販路開拓等を支援する。	産学官連携推進事業 デニムプロジェクト(デニム産地PRの強化) 地場産業振興センター人材育成事業(織物研修会)【井原市】
	エ 雇用対策	圏域内の市町が連携し、若者や女性、高齢者、障がい者の就労促進に取り組む、雇用の創出につなげる。	U・Iターン就職支援事業 雇用対策 学生の地元定着支援 若年者就職支援事業 障がい者の雇用対策(福祉的就労) 仕事と家庭の両立支援 都市圏からの人材呼び戻し事業【三原市】
(3) 第一次産業の活性化	ア 6次産業化の推進	圏域内の地域資源を活用した農林水産業の新たな付加価値の創出を図る6次産業化を推進することで雇用創出や地域経済の活性化に取り組む。	6次産業化の推進(備後圏域ワインプロジェクト等)
	イ 第一次産業振興のための環境整備	魅力ある第一次産業に向け、担い手の確保や生産基盤の整備、地域連携等に取り組むとともに、異業種間連携により、瀬戸内の小魚のブランド化等を推進する。	水産物ブランド化推進事業(備後フィッシュ) 担い手の育成・確保 世羅町農業体験【世羅町】
(4) 戦略的な観光振興	ア 戦略的な観光振興	圏域内の観光資源を見つめ直すことで、圏域全体の魅力に磨きをかけ、圏域外からも多くの観光客を惹きつける取組を推進する。	びんご圏域周遊促進事業 備後圏域サイクリングエリアの構築 備後圏域PR事業～BINGOフェスティバルin尾道～【尾道市】 まちぐるみ・まちグルメ【府中市】

# 備後圏域の最近の動き — 安心・安全な圏域づくり —

## めざす姿

圏域における「災害時の相互応援に関する協定書」に基づき、広域的な連携による復旧支援等、圏域住民の安心・安全を確保する

## 地域防災を担う人材育成

防災士養成講座を兼ねた福山防災大学の受講対象者を備後圏域に拡大

- ・地域防災を牽引するリーダーの育成  
福山防災大学の開催  
防災士資格取得者数 89人(2017年度)



## 備蓄物資の整備

災害に備え、備後圏域で備蓄物資を計画的に整備

## 平成30年7月豪雨における対応

### 相互支援

- D-MAT  
福山市民病院に「尾三・福山・府中D-MAT活動拠点本部」を設置
- 職員派遣  
圏域内の被災市町に水道・消防職員を派遣
- 給水支援  
給水車の派遣、応急給水タンクの貸与、給水袋の提供



など

### 被災者支援での連携

- 災害救助法の適用市における、宅地に流入したがれきや土砂の撤去について、連携した対応の申合せ(圏域で共通的な対応)
  - ・市内全域の宅地内を対象
  - ・撤去は、行政が直接実施
  - ・がれき混じり土砂の撤去は、遡及対象

### 体制整備

- 災害連絡調整会議の立上げ  
統一的な対応の協議・調整、独自支援施策の情報共有、要望活動の調整など

### 要望活動

- 広島県・岡山県への要望書提出  
備後圏域の関係市町で県知事に要望書提出
- 農林水産大臣への要望書提出  
備後圏域6市2町で農林水産大臣に要望書提出

## 自治体連携 備え急務

西日本豪雨災害、広島市は広島土砂災害の経験を基に、広島県熊野町と坂町に災害対策本部の運営などのノウハウを提供し、福山市など備後圏域の市町は、民家に流れ込んだ土砂撤去を支援する枠組を統一した。広域連携が実を結んだ一方、迅速な支援につながる情報共有や、被災地域の異なる市町間での調整など課題も浮かんできた。豪雨災害から6日で3カ月。広域で同時に対応する災害を想定した連携へ備えが急がれる。

### 西日本豪雨あす3カ月



### 広島市、熊野・坂町に職員派遣

#### 避難解除や遺留品

広島市は、甚大な被害があった熊野町と坂町から支援の依頼を受け、危機管理室の職員を7月下旬から1人ずつ派遣。2014年8月に発生した広島土砂災害での対応を生かした。

熊野町には、市河本秀明・災害予防課長が入り災害対策本部の運営支援に当たった。町内の住宅団地大原ハイツの裏山では土石流が発生し、12人が死亡。コアストーンが壊れる同地区の避難指示をいつ解除するか判断難しや、被災現場の遺留品を遺族に渡す手順などを、4年前の経験に基づいて情報提供した。

「現場のニーズを市の関係部署に伝え、必要な知見を引き出す備後し役になった」と河本課長。「避難情報を出すタイミングや地域特性など、平時からの周辺市町と情報を共有しておく必要がある。そうすれば災害時もアドバンスしやすい」と今後の課題を指摘する。

熊野町の坂永治夫危機管理室長は「大規模災害の経験がなく、何をすればいいのかわからなかった。日ごろから情報を持ち、対応をイメージすることが大事だと痛感した」と振り返る。

市は広島、山口両県の3市町とつくる「広島広域都市圏」で人口維持や経済活性化での連携を目標すが、広域に及ぶ災害への対応力の強化も欠かせないと感じ止める。松井一夫市長は「この枠組みを生かし、災害が起こったときに連携し、機動的に動くたい」と強調。9月に起きた豪雨での課題を検証する有識者会議でも、消防や水道事務などの自治体連携の在り方を話し合ってきた。

(野田華奈子)

## 対策本部のノウハウ提供

## 撤去支援 枠組み統一 住民混乱防ぐ

### 備後圏域連携協議会

広島、岡山県の6市2町でつくる備後圏域連携協議会は、発災1カ月後の8月1日に緊急会合を開き、民有の宅地に流入した土砂やがれきを各自自治体が直

接撤去するなどの共通支援策を申し合わせた。徳島の加連化とともに、通勤や買い物など生活圏が異なる住民間で支援レベルに差が出るのと混乱が生じると判断し

広島市は、甚大な被害があった熊野町と坂町から支援の依頼を受け、危機管理室の職員を7月下旬から1人ずつ派遣。2014年8月に発生した広島土砂災害での対応を生かした。

熊野町には、市河本秀明・災害予防課長が入り災害対策本部の運営支援に当たった。町内の住宅団地大原ハイツの裏山では土石流が発生し、12人が死亡。コアストーンが壊れる同地区の避難指示をいつ解除するか判断難しや、被災現場の遺留品を遺族に渡す手順などを、4年前の経験に基づいて情報提供した。

「現場のニーズを市の関係部署に伝え、必要な知見を引き出す備後し役になった」と河本課長。「避難情報を出すタイミングや地域特性など、平時からの周辺市町と情報を共有しておく必要がある。そうすれば災害時もアドバンスしやすい」と今後の課題を指摘する。

熊野町の坂永治夫危機管理室長は「大規模災害の経験がなく、何をすればいいのかわからなかった。日ごろから情報を持ち、対応をイメージすることが大事だと痛感した」と振り返る。

市は広島、山口両県の3市町とつくる「広島広域都市圏」で人口維持や経済活性化での連携を目標すが、広域に及ぶ災害への対応力の強化も欠かせないと感じ止める。松井一夫市長は「この枠組みを生かし、災害が起こったときに連携し、機動的に動くたい」と強調。9月に起きた豪雨での課題を検証する有識者会議でも、消防や水道事務などの自治体連携の在り方を話し合ってきた。

(野田華奈子)

策の加速やため池対策の強化などを課題をまとめて広島県の備後防災知事に提言した。枝広市長は今月1日の記者会見で「豪雨被害が広域に及んだ中で、圏域内の実情をしっかりとつなぐことができた」と強調した。

一方、土砂やがれきの撤去という「支援についての共通項を見いだすまでが難しかった」と市幹部。協議会発足の2017年7月、災害時の相互応援協定を結ぶ被災市町に対する迅速な支援を協議している。なかなかの「一回り」な「同時多発的」な災害は想定していなかった。今回、各市町で被害程度が異なり、撤去の災害でも住民への支援の範囲に差があったため、調整は難航した。枝広市長は「今後も必要があれば、互いに共通の対応がとれるように連携を深めたい」と話している。

(野田華奈子)

# 各市町が中心となって実施している主な事業（各市町関連図）



- 経済・基盤
- 民間連携
- 農業
- 医療福祉
- 地域資源
- イベント

## まちぐるみ・まちグルメ

府中で行われる”備後府中食博”において、圏域内等の特産品をPR

## ワインプロジェクト

圏域の地域資源であるぶどうを活用したワインの振興を図り、圏域のワイン文化を醸成



## 「まるごとにつぼん」出展

東京浅草にある「まるごとにつぼん(全国市町村のアンテナブースなど)」に備後圏域として出展し、新たな販路開拓の機会を提供

## JP連携

ふるさと納税返礼品を活用した郵便局によるみまもり訪問サービス



## 農業体験

就農に向けた農業体験の実施

## 尾道スイーツコンテスト

圏域の事業者を対象とした新たなスイーツ開発

## 都市圏からの人材呼び戻し事業

企業の採用担当者を対象に、PR方法等の研修や都市圏等で開催される就職ガイダンスへの参加を支援

## BINGO フェスティバル

圏域の知名度向上及び圏域住民・企業等の一体感醸成を目的に、6市2町が連携してイベント実施



## 備後フィッシュ

圏域の沿岸4市で水揚げされた水産物の消費拡大や流通促進等を図るため、魅力発信、認知度向上、魚食普及等の取組を推進



## デニムプロジェクト

備後圏域の知名度の向上やデニム関連事業者の販路拡大



## 診療支援

備後圏域内の自治体病院へ福山市民病院から医師を派遣



## Fuku-Biz

企業の稼ぐ力の向上と創業を促進するための売上向上に特化した伴走型の支援



## 地域公共交通再編

連携して計画策定を行うとともに、広域路線に関して周辺市町の同等計画と整合

## こども発達支援

圏域の発達に課題がある子どもを支援するため、共同で運営する「こども発達支援センター」を設置



## 認知症対策

高齢者徘徊SOSネットワークを圏域へ拡大。徘徊などで行方不明となった場合、圏域内で情報を共有し早期に発見

2018年度  
広域化